

令和6年度春期 システムアーキテクト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT人材教育研究部 2024,7,4

4月21日(日)に行われた令和6年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析結果をもとにして、システムアーキテクト試験の分析コメントをお知らせします。

今回のシステムアーキテクト試験から、従来午後試験の出題範囲に含まれていた組込み・IoTシステム関連の内容がエンベデッドシステムスペシャリスト試験に移行し、午後Iと午後II試験の出題数がともに1問減って、それぞれ3問と2問になりました。

■システムアーキテクト試験 (SA)

(令和6年度春期 システムアーキテクト試験 統計情報)

応募者	5,696人
受験者	3,666人
合格者	549人
合格率	15.0%

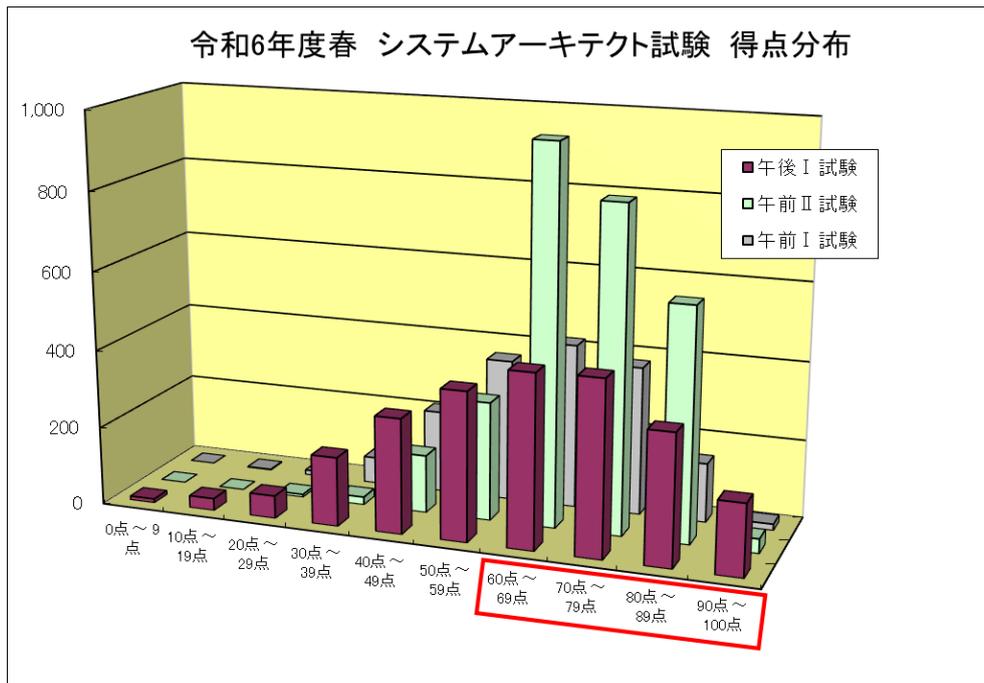
令和6年度春期のシステムアーキテクト試験の合格率は15.0%で、前回の15.8%から少し下がりました。最近5回の試験の中でもやや低い結果といえます。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

(令和6年度春期 システムアーキテクト試験 スコア分布)

得点	午前I試験	午前II試験	午後I試験	午後II試験	合格者
0点～9点	0	0	10	D 156	
10点～19点	2	0	31		
20点～29点	12	7	58	C 283	
30点～39点	68	20	176		
40点～49点	210	148	293	B 402	
50点～59点	362	302	378		
60点～69点	419	954	440	A 549	
70点～79点	378	820	443		
80点～89点	151	590	332		
90点～100点	16	37	182		
計	1,618	2,878	2,343	1,390	549
対前試験比率		177.9%	81.4%	59.3%	39.5%
午前I免除者(概数)	2,048	55.9%			

合格者数	549	採点者数の割合	合格者数との差
午前I 60点以上合計	964	59.6%	415
午前II 60点以上合計	2,401	83.4%	1,852
午後I 60点以上合計	1,397	59.6%	848
午後II-A評価	549	39.5%	0



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回システムアーキテクトの午前 I 試験免除者は概算で 2,048 人 (55.9%) でした。

午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の人は 964 人 (受験者の 59.6%) で、前回の 55.4% と比べて 4% ほど上がっています。

午前 II 試験で基準点以上の人は 2,401 人 (受験者の 83.4%) で、前回の 92.7% からかなり下がりました。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 59.6% で、前回試験の 57.4% から少し上がっています。

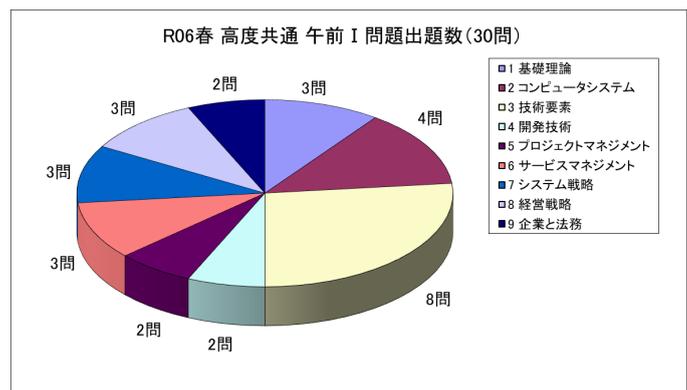
午後 II の論述式試験で合格点 (A 評価) を取ることができた人は 39.5% で、こちらは前回の 40.0% とほぼ同じでした。

■令和 6 年度春期 システムアーキテクト試験 出題内容について

(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題)) 30 問出題 / 30 問解答, 50 分

高度試験で共通して出される午前 I 試験の 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) の午前試験 80 問の中から選ばれていて、テクノロジー系 17 問 (57%) マネジメント系 5 問 (17%) ストラテジ系 8 問 (26%) という出題比率です。

午前 I 試験には免除制度がありますが、高度試験の約 4～5 割の人が午前 I 試験から受験しています。この中で 60 点以上の得点で午前 II 試験の採点に進む人は 5～6 割で、出題範囲が広いため試験問題を難しく感じる人がかなり多いといえます。難しい問題が多いときには 4 割程度の人しか通過できないときもあったので、最初の午前 I 試験でつまづかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識をつけていく



必要があります。

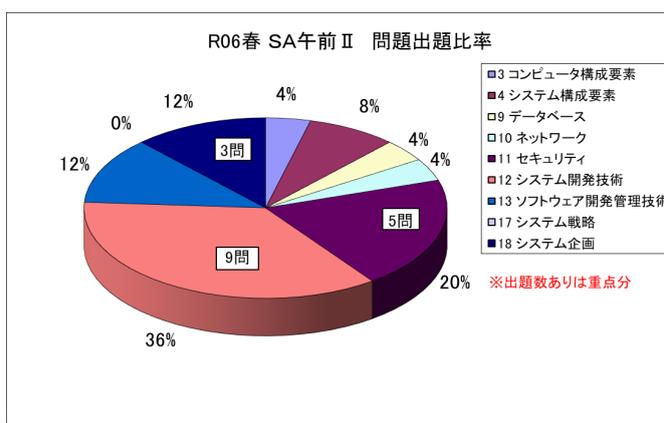
- ・今回の午前Ⅰ試験の内容は、約6割が過去問題でしたが、定番といえる問題が増え、前回より解きやすかったといえます。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ4問で、最も多い出題数です。
- ・新傾向問題は4問で前回の5問と大きく変わっていません。

〔午前Ⅱ試験（専門知識問題）〕 25 問出題／25 問解答，40 分

システムアーキテクト午前Ⅱ試験の重点出題分野は、システム開発技術とシステム企画、セキュリティですが、システム開発技術の出題が多いです。今回、品質、レビュー、テスト関連問題が3問ありましたが、前回、前々回と同じ出題数です（以前7問のときあった）。なお、セキュリティの出題が5問（前回4問）あり、他のITストラテジストやITサービスマネージャ試験よりも多い出題数になっています。

新傾向問題は5問（前回も5問）で、マイクロサービスアーキテクチャ、アジャイル、AI関連知識などについて理解しておく必要があります。

過去問題は全体の約6割ですが、システムアーキテクト試験の過去問題は11問あり、R4年の問題が4問で最多でした。直近4回分ぐらいの過去の試験問題は重点的に理解しておきましょう。



〔午後Ⅰ試験（記述式）〕 3 問出題／2 問解答，90 分

今回の試験から組込み/IoTシステムの事例問題がなくなり、3問出題に変わりました。出題された内容は、問1が生産管理の問題で基礎的な知識を理解していないと解答しづらい問題で、問2と問3は業務プロセスの改善に関する問題でDXの推進に関連させた内容でした。

- ・問1 システムの統合（加工食品の製造販売メーカー） 普通～やや難
- ・問2 会員向けサービスに関わるシステム改善（大手消費者金融会社） 普通
- ・問3 学習塾の通知システム（個別指導学習塾） やや易～普通

〔午後Ⅱ試験（論述式）〕 2 問出題／1 問解答，120 分

今回の試験から組込み/IoTシステムの事例問題がなくなり、2問出題に変わりました。今回の午後Ⅱ問題内容は次のとおりで、2問とも実際の経験がないと記述しづらい内容だったといえます。

- ・問1 人手によってしか実現できないと考えていた業務への先進技術の適用について
- ・問2 バッチ処理の設計について